

9月4日（水）

## 在上海日本国総領事（大使）との意見交換

在上海日本国総領事公邸において、磯俣秋男在上海日本国総領事（大使）と意見交換を行った。

磯俣総領事（大使）より、在上海日本国総領事公邸は築百年以上の歴史的建造物であり、1972年国交正常化されたのち、1978年から1998年の20年間、総領事館の事務室として使用されてきたことなど、公邸、総領事館の概要について説明があった。

その後、食事をとりながら、上海市の産業の状況、中国からの観光客や日本へのクルーズ船の状況、上海への修学旅行誘致の取組、ごみ分別やモバイル決済など上海市の現状について、説明を受けるとともに意見交換を行った。



磯俣総領事（大使）と

## 市民団体主催だんじり囃子公演鑑賞

在上海日本国総領事館多目的ホールで行われた、大阪・上海友好都市提携45周年記念事業でもある此花区観光協会主催のだんじり囃子公演に出席した。

まず、磯俣総領事（大使）から挨拶が行われたあと、高橋副市長による挨拶があった。

### 【高橋副市長挨拶要旨】

在上海日本国総領事館の磯俣大使、並びにご来場の皆様、本公演がこのように盛大に開催されることを心からお喜び申し上げ、開催にご尽力された関係者の皆様方に、深く敬意を表する。

本年は大阪市と上海市の友好都市提携45周年記念の年であり、行政間の交流だけでなく本公演のような文化交流イベントを通じ、市民間でも交流することにより両市の友好の絆がさらに強まると考えている。また、日中青少年交流推進年である本年に若い皆様を中心となって本公演を開催されたことは大変意義深い。今後も様々な交流イベントを通じて、貴市と活発な交流を進めてまいりたいと考えているので、引き続きご理解とご協力を賜りたい。

2025年の日本万国博覧会の開催地が大阪・関西に決定した。大阪・関西での万博は、人類が抱える未来社会の課題に解決策を示し、いのち輝く未来社会をデザインできる万博と確信している。万博の開催時には、身近なアジアでの開催となるので、ぜひ上海市からも多くの方にお越しいただきたい。

最後に、本公演を通じて両市の友好親善が一層発展するよう、また、皆様方のご健勝ご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

この後、此花区住吉神社地車会による大阪締めの説明が行われ、広田市会議長が挨拶した後、広田議長の音頭にて来場者全員で大阪締めを行った。

#### 【広田議長挨拶要旨】

此花区観光協会の皆様、在上海日本国総領事館の磯俣大使、ご来場の皆様、そしてだんじり囃子公演の開催にあたりご尽力をいただいた皆様方に、厚くお礼申し上げます。

大阪市・上海市の市民の皆様の間で、このような文化交流事業を通じて友好を深めていることは、大変意義深いことであり、喜ばしく思う。

大阪では、2025年万国博覧会の開催が決定した。多くの上海市民の皆さんのご来阪を期待するとともに、この世界的なイベントに併せ、様々な交流事業を盛り上げることにより、友好都市としての絆の強さを世界にアピールできればと考えている。

最後に、両市の交流がより一層深まるよう、また本日お集まりの皆様のご健勝・ご多幸を祈念して、大阪締めを披露させていただきたい。



挨拶をする広田議長

その後、地車会からだんじり囃子に関する説明が行われ、だんじり囃子の公演を鑑賞した。鑑賞後には高橋副市長、広田議長に対して、地元メディアから取材があり、今回の上海訪問についてPRした。



だんじり囃子公演の様子

## 上海市表敬訪問

上海市人民政府において、許昆林 上海市副市長の表敬訪問を行った。

まず、上海市人民政府内にある展示施設において、上海全体の上空図や2010年上海万博開催時の写真などを見学した後、上海市のプロモーション映像を視聴した。

この後、許副市長を表敬訪問した。まず、許副市長の挨拶があり、続いて高橋副市長が挨拶を行った。

### 【許副市長挨拶要旨】

2025年の大阪万博誘致が成功されたこと、また、今年の6月にG20も成功に収められたこと大変喜ばしく思う。

我が国の習近平主席が日本の総理と会談を行い、G20のことなど、色々な話題について会談が行われた。大阪と上海は早い段階で友好都市提携を結び、大阪市は上海市として海外で2番目に提携を結んだ都市である。

まず、ここで紹介したいのは、今、上海の外国人のうち、おそらく日本人が一番多く、5万人を超えているということ。また、30を超える日本の自治体がここ上海において経済貿易代表処という形で窓口を設置されている。何よりも、この度の高橋副市長、広田議長をはじめ、皆様の上海訪問を嬉しく思い、歓迎する。

### 【高橋副市長挨拶要旨】

お忙しい中、我々を温かく迎えていただき心からお礼申し上げます。

大阪市と上海市は、1974年の友好都市提携以来、1981年に友好港提携、1995年にビジネスパートナー都市提携を行い、様々な分野において活発な交流を重ねてきた。

先ほど副市長からもあったように、万博、G20の成功については、貴国のご支援の賜物だと感謝している。

また、来年の桜の咲くころは、習近平主席が安部首相のところに国賓として来られることが報道されているので、国レベルに負けないくらいの形で都市間レベルも活発化していきたい。本年度で両市の友好都市提携が45周年を迎えた。大阪と上海両市にとって友好の節目となる年に上海を訪問させていただくのは大変有意義なことだと思っている。今回の上海訪問をきっかけに、両市の友好をさらに深めていきたいと考えているので、ご理解ご協力賜りたい。

双方の挨拶が終わった後、意見交換を行った。

### 【意見交換要旨】

〔許副市長〕

- ・上海と大阪の間では多くの友好交流を行ってきたので、これからもさらに発展させていきたいと考えており、努力していきたい。
- ・ここ数年、上海の経済発展は全体的に平穏で、今年上半期の成長率は5.9%程度を維持している。
- ・最近の最も大きな取り組みとして、すでにあった自由貿易区について新たなブロック、エリアを設置した。
- ・昨年開いた輸入博覧会を今年も11月に2回目を開催する予定であるが、昨年の輸入博覧会では企業の出店数、面積は日本が一番多くて大きい。
- ・昨年に続き、今年もたくさんの企業、出展企業にいろいろな形で参画いただいている。昨年は27万平方メートルの展示面積であったが、今年は6万増やして33万平方メートルを予定している。



許副市長との意見交換

- ・アジア太平洋地域デジタル港システムを提案させていただきたい。このシステムは貿易の供給チェーンをもっと合理化させ、地域経済の一体化を推進させていくシステムである。すでに12か国のAPECメンバー、およそ22の港から参加を認められているが、ぜひ大阪からも積極的なご協力をお願いさせていただきたい。
- ・この後、両市45周年を記念するために、両外事担当部署間で確認書を調印する予定であるが、これも含めてぜひ色々な交流を進めていきたい。

〔高橋副市長〕

- ・上海における素晴らしい経済成長率、これを大阪にも取り込みたいと考えており、明日、花園飯店にて大阪プロモーションセミナーを開催する。セミナーでは大阪の都市環境や、大阪のスタートアップ企業を紹介させてもらう。
- ・今年11月に上海で開催される第2回中国国際輸入博覧会については、昨年につき大阪からも出店させていただく。この事業を通じて、両市の経済交流促進を図りたいと考えている。
- ・提案のあったアジア太平洋地域のデジタル港システム、これについては今回、港湾局長も同行しているので、どのような対応ができるか考えていきたい。
- ・港に関連して2025年日本万国博覧会の開催場所であるが、大阪の夢洲という場所になる。現在、万博が終わった後、どのようにして街をつくっていくのか研究しているところで、明日上海万博の跡地を視察させていただき、参考にさせていただきたいと考えている。

意見交換終了後、高橋副市長、許副市長、立会いのもと、交流促進確認書の署名式が行われ、両市の今までの交流の努力と成果を認め、今後も引き続き交流を促進することを確認した。



交流促進確認書署名式

## 上海市主催 友好都市提携45周年記念夕食会

署名式の後、上海市主催で友好都市提携45周年記念歓迎夕食会を開いていただき、許副市長をはじめ、上海市の様々な部署の方々と自由な意見交換を行うなど、友好関係強化に向けた交流を行った。

夕食会のなかでは、許副市長より上海市のゴミ分別問題、動物園・美術館等観光施設の夜間運営、地下鉄深夜運行化に向けた課題、交通渋滞解消策として自家用車保有台数制限等の交通問題、水質汚染改善、火災など災害時の安全管理などについて説明があった。高橋副市長からは、上海市との廃棄物分野での新たな交流、青少年絵画交流の継続が提案され、賛同を得られた。また、友好都市提携45周年を記念して上海マラソンで大阪ランナー枠を確保されたことに対する感謝が述べられるとともに、大阪マラソンにおいても上海ランナー枠を確保したことを報告した。